

一級自動車工学科・自動車整備科

2024年度 授業計画

時 期	1年B巡	単元	実習	教科名	T / A・デフ分解組立			
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	3 級自動車シャシ			発行日	2024年4月1日	
			A 巡部品計測実習ノート					
総時限	16時限					教科 担当	中野	● ■
							島野	● ■

1. 指導教員の実務経験

自動車販売会社で整備士としてトランスアクスル、ディファレンシャル、ドライブシャフトの分解点検整備の実務経験。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

1. ドライブシャフトの構造・機能を理解する
2. ファイナルギヤの構造・機能を理解する
3. ディファレンシャルの構造・機能を理解する
4. トランスアクスルの構造・機能を理解する

3. 授業の到達目標（何を理解し何ができるようになるのか）

1. ドライブシャフトの構造を理解し分解・組立ができる
2. ディファレンシャルの構造を理解し分解組立ができ、名称がわかる
3. バックラッシュの点検、調整ができ良否の判定ができる
4. 歯当たりを理解する
5. トランスアクスルの構造を理解し、分解組立ができ特徴を理解する
6. ギヤの配列を理解し、計算ができる
7. クルマの楽しさや整備の面白さを伝える授業を実施する

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・実習履修試験での得点評価 ※本実習は技能要件項目に該当し80点以上で認定となる。
- 整備科60点以上で合格 工学科70点以上で合格
- 80点以上：「優」 60点以上（工学科は70点以上）：「良」 60点未満（工学科は70点未満）：「未」
- 再試験合格の場合得点に関わらず：「可」 再試験不合格の場合、判断により判定試験を実施し、合格の場合「可」
- 出題試験項目
- ① ドライブシャフト、ディファレンシャルの部品名称
 - ② バックラッシュ及びブレロード測定
 - ③ ユニバーサルジョイント及びディファレンシャルの特徴、ディファレンシャルの歯当たりについての筆記試験

5. 準備学習

学科授業シャシ構造A、Bの復習

※ ● ⇒実務経験がある教員

※ ■ ⇒日産資格保持者

一級自動車工学科・自動車整備科

2024年度 授業計画

[illegible]

一級自動車工学科・自動車整備科 2024年度 授業計画

時 期	B巡	単 元	実 習	教科名	T / A・デフ分解組立
7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)					
番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック	
1	共通項目	共同作業は合図確認の徹底			
2	D/S (B J) 分解	スライドハンマ使用時は手袋使用	手、指の挟みこみ		
3	ファイナルドライブ・セット	重量物の脱着は手袋を使用する 見た目以上に重いので慎重に取り扱う	手、指の挟みこみ		
4	プレロード・調整	ギヤの先端は手を切りやすい	切傷		
5	T / A 分解	重量物の脱着は手袋を使用する	手、指の挟みこみ		
6	ギヤ比計算	ギヤの先端は手を切りやすい	切傷		
8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)					
実習場			座学教室		